

自治体の廃棄物処理フロー(宝塚市) 安田寿夫氏(CASA 会員)

- 10.29 第10回 研究会テーマ「廃棄物の循環管理とアセスメント」  
「廃棄物の循環管理とアセスメント」  
山村恒年氏(弁護士、CASA 代表理事)
- 2007.1.27 第11回 研究会テーマ「最終処分場についての基礎」勉強会
- 4.21 第12回 研究会テーマ「最終処分場問題 - 事例から学ぶ」勉強会

## **CASA 気候変動問題研究会(1999年～2008年)**

- 1999.1.10 第22回 COP4の概要と評価 川阪京子氏(CASAコーディネーター)  
共通だが差異ある責任?～途上国参加をめぐる交渉の現状 橋本征二氏(京都大学大学院)  
京都メカニズム(柔軟性措置)をめぐる交渉の現状と課題 上園昌武氏(大阪市立大学大学院)
- 3.23 第23回 排出量取引に対するNGOの立場 山本将氏(大阪大学大学院)  
排出量取引の設計上の論点 新澤秀則氏(神戸商科大学)
- 6.7 第24回 再生可能エネルギー普及へ向けた自治体・市民の取り組み 古田剛氏(気候ネットワーク・自然エネルギー普及研究会)  
欧州における再生可能エネルギー普及策 細谷直毅(環境市民・エコシティ研究会)
- 8.7 第25回 入門・京都議定書交渉の議論の整理 山本将氏(大阪大学大学院・CASA 会員)  
第10回補助機関(SBSTA/SBI)会合報告 川阪京子氏(CASAコーディネーター)、平井康宏氏(京都大学大学院・CASA 会員)
- 11.21 第26回 交通部門における温暖化対策 兒山 真也氏(神戸商科大学助手)  
COP5・SB11報告 林 宰司氏(京都大学大学院)
- 2000.8.20 第27回 COP3以降の条約・議定書交渉ー京都議定書の積み残したもの  
早川光俊氏(CASA専務理事)  
COP6に向けた条約・議定書交渉の論点 川阪京子氏(CASA条約交渉担当)
- 12.16 第28回 COP6での国際交渉の概要と結果 上園昌武氏(島根大学講師)  
COP6決裂の原因となった吸収源問題 橋本征二氏(CASA理事)
- 2001.8.12 第29回 COP6再開会合で何が議論されたのか 林周氏(大阪大学大学院)  
京都議定書交渉の到達点と今後の課題 高村ゆかり氏(静岡大学助教授)
- 2002.5.11 第30回 研究会テーマ「京都議定書のルールーCOP7で何が決まったかー」  
マラケッシュ合意の内容とその評価 上園昌武氏(島根大学助教授)  
京都メカニズムの運用ルールについて 大島堅一氏(立命館大学助教授)  
残された課題と新「地球温暖化対策推進大綱」の問題点 早川光俊氏(CASA専務理事)
- 12.8 第31回 COP8で何が議論されたか 大島堅一氏(立命館大学助教授)  
ブラジル提案について 上園昌武氏(島根大学助教授)

- 第1約束期間以降の議論について 早川光俊氏(CASA専務理事)
- 2003.5.10 第32回 自然エネルギー普及と市民 和田武氏(立命館大学教授)  
CASAエコエネルギー・コンソーシアムの研究紹介  
林周氏(大阪大学大学院)
- 7.13 第33回 「エコエネルギー共同発電セミナー」グリーン電力と市民参加—日本で広がる市民風車— 鈴木亨氏(北海道グリーンファンド)
- 10.11 第34回 「エコエネルギー共同発電セミナー」地域づくりとエコエネルギー  
長谷川明氏(兵庫県健康生活部環境局大気課長)、木田正憲氏(大阪府環境  
農林水産部循環型社会推進室環境管理課)
- 11.22 第35回 「エコエネルギー共同発電セミナー」エコエネルギー発電の事業評価手法  
の基礎 村上芽氏(日本総合研究所研究員)
- 2004.1.25 第36回 「エコエネルギー共同発電セミナー」エコエネルギー発電の資金調達  
村上芽氏(日本総合研究所研究員)
- 1.27 第37回 研究会テーマ「COP9と京都議定書をめぐる状況」  
COP9と京都議定書をめぐる状況 早川光俊氏(CASA専務理事)  
将来の制度設計についての環境NGOの提言と各セクターの状況  
大島堅一氏(立命館大学助教授、CASA理事)
- 2006.1.28 第38回 研究会テーマ「COP11,COP/MOP1 歩み始めた京都議定書 2013年以降にも  
も確かな道のり」  
COP/MOP1の課題とその成果 早川光俊氏(CASA専務理事)  
CDM改革と途上国問題について 大久保ゆり氏(CASA事務局スタッフ)  
実施段階に入った議定書と今後の課題 上園昌武氏(鳥根大学法文学部助教授)
- 6.10 第39回 研究会テーマ「日本のRPS制度の現状と課題」  
RPS制度の概要 木村啓二氏(立命館大学大学院生)  
日本のRPS法見直しに向けた課題と新しい自然エネルギー政策  
大林ミカ氏(「自然エネルギー促進法」推進ネットワーク/環境エネルギー  
政策研究所)
- 8.30 第40回 研究会テーマ「国際交渉『始まった2013年以降の議論、注目されるクリーン  
開発メカニズム(CDM)』」  
2013年以降の削減義務と制度枠組みの課題 早川光俊氏(CASA専務理事)  
ボン会議報告とNGOから見たCDMの現状と課題  
大久保ゆり氏(CASAスタッフ)
- 10.8 第41回 研究会テーマ「地球温暖化による漁業への影響」  
漁業への影響と今後の影響予測 鍋島靖信氏(大阪府立水産試験場 生物環  
境研究グループ長)  
漁業の現場から見た環境の変化とその対策 音揃政啓氏  
(大阪府漁協青壮年漁業者連絡協議会会長)
- 12.3 第42回 研究会テーマ「地球温暖化と農業・食料問題」  
地球温暖化の見通しと農業への影響 渡邊紹裕氏(総合地球環境学研究  
所・研究部・教授)

- 農業の現場から、影響とその対策 富江智氏 (JAグリーン近江農業協同組合)
- 2007.1.20 第43回 研究会テーマ「オール電化を考える」  
 「進行する地球温暖化」 早川光俊氏(CASA専務理事)  
 「オール電化の環境負荷」 鈴木靖文氏((有)ひのでやエコライフ研究所)  
 「消費者からみたオール電化」 飯田秀男氏(全大阪消費者団体連絡会 事務局長)
- 1.31 第44回 研究会テーマ「COP12、COP/MOP2報告 国際交渉の最新動向と今後の課題」  
 「COP12、COPMOP2報告～将来枠組み・適応に関する議論～」 大久保ゆり氏(CASA事務局)  
 「国際交渉の最新動向と今後の課題」 早川光俊氏(CASA専務理事)
- 4.14 第45回 「IPCC第4次評価報告書 連続3回学習会『加速する地球温暖化—科学者からの警告—』第1作業部会「気候変化の自然科学的根拠」  
 「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)と報告書について」 大久保ゆり氏(CASA事務局)  
 「気候変化の自然科学的根拠」 鬼頭 昭雄氏 (気象研究所気候研究部第一研究室長、IPCC報告書執筆者)  
 「人間活動による地球温暖化への懐疑論を検証する」 岩本 智之(CASA代表理事)
- 6.2 第46回 「IPCC第4次評価報告書 連続3回学習会『加速する地球温暖化—科学者からの警告—』第2作業部会「気候変動の影響と適応」  
 「IPCCと地球温暖化の国際交渉」 早川光俊氏(CASA専務理事)  
 「気候変動の影響と適応」 西岡秀三氏 (国立環境研究所理事、IPCC報告書査読編集者)
- 7.7 第47回 「IPCC第4次評価報告書 連続3回学習会『加速する地球温暖化—科学者からの警告—』第2作業部会「気候変動の対策」  
 「第3作業部会の概要」 橋本征二氏 (国立環境研究所主任研究員、IPCC報告書執筆者)  
 「第4章 エネルギー供給について」 大島堅一氏 (立命館大学助教授、IPCC報告書査読者)

## CASA 環境と貿易研究会

- 2003.3.29 第1回 「WTO とグローバリゼーション、その光と影」  
 古沢広祐氏 (国学院大学教授)
- 6.14 第2回 「農業自由化交渉の経緯と WTO 第5回閣僚会議」  
 伊庭みか子氏 (安全な食と環境を考えるネットワーク)
- 9.6 第3回 「WTO と多国間環境条約」 高村ゆかり氏 (静岡大学助教授)
- 12.13 第4回 「世界各地から市民が結集する「ポルト・アレグレ」って？」  
 佐久間智子氏 (JACES)
- 「WTO 第5回閣僚会議報告」 飯田秀男氏 (全大阪消費者団体連絡会)